

社会科学学習指導案

令和2年10月 第2学年 指導者 新井 彰典

1 単元名 日本の諸地域「中部地方」

2 学習指導要領上の位置付け

(3) 日本の諸地域

産業を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) 産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本の諸地域において、それぞれ産業を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

3 目標

中部地方の地域的特色について、三つの地域の産業の違いについての資料を読み取り、地域的特色の変容について考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 中部地方の産業と自然環境や社会環境との関わりについて、様々な資料を活用しながら中部地方の地域的特色を理解している。(知識及び技能)

イ 中部地方の産業の地域的特色を、地図や資料から読み取り、自然環境や他地域との結び付きなどと関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 中部地方に関心をもち、自然的・社会的条件が産業に与える影響を意欲的に追究しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（3／6）

(1) ねらい

愛知県周辺の地図や田原市に関する資料を基に、それらの関連と既習の地域との類似点と相違点について話し合う活動を通して、東海地区の農業が自然環境や他地域との結び付きに影響を受けているという特色を理解できるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地区の市が三つも入っているな。 ・この3市には何か共通した点があるのかな。 ・1位の田原市ではどのような農業をしているのだろう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○農業産出額の上位10市町村を提示し、東海の3市（愛知県田原市、豊橋市、静岡県浜松市）が入っていることに気付かせ、掛図上に位置を提示する。 ○本時では、平成26年から30年まで5年連続1位の田原市に注目して、東海の農業の特色を学習することを確認する。
<p>【めあて】 東海の農業には、どのような特色があるのだろう。</p>		
<p>2 一人一人が、自然環境や地理的条件に関わる資料から解決に必要な情報を集め、読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業には自然環境や気候が関係していると思う。 ・高知県の農業は、交通網とも関係があったな。 ・田原市はキャベツや菊の生産量が多い。 ・渥美半島には豊川用水があり、そのことによって農業用水が提供されていると思う。 ・近くには東名高速が走っている。 ・他の中部地方の都市よりも、日照時間が長く、平均気温も高いから田原市は温暖な地域だ。 ・東京にも大阪にも愛知のキャベツが出荷されているな。 ・菊は温室の中で栽培されているな。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ◎既習の地域のOPPシートの内容を思い返しなが、ねらいに対する予想を立てさせ、学習の見通しをもてるようにする。 ○予想したことを基に、諸資料の中から田原市で農業が発展してきた根拠となる情報を読み取るように伝える。 ◎学習計画・記録表（OPPシート）の「今日のポイント」を活用し、生徒に自然環境や地理的条件が東海の農業にどのような影響を与えているのかという視点を確認させる。 ○田原市に関する資料や東京と大阪の卸売市場の資料などを提示し、農業と自然環境や交通網の関連という地域的特色を読み取れるようにする。 ○まず個人で資料の読み取りを行い、そのあとに、学級全体で確認し、共有する。 ○資料は書画カメラで投影し、資料のどの部分から読み取ったのか全体で共有できるようにする。 ○田原市で生産された実際の菊や温室の写真などを提示することで、栽培方法の工夫を理解させる。
<p>3 学級全体で、整理した情報を基に、東海地方の農業の特色を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均気温が高く、日照時間が長いということは温暖な気候が農業に適している。 ・宮崎平野や高知平野と同じように温暖な気候を生かしてビニールハウスや温室を利用した施設園芸農業を行っている。 ・菊は電照菊という抑制栽培を行い、年間を通して出荷している。 ・東名高速が走っているの、名古屋、東 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から読み取ったことを基に、田原市で農業が盛んな理由を個人で考えさせる。そのあとに、全体で共有する。 ○生徒の発言に対して問い返したり全体に投げ掛けたりして、考察を深められるようにする。 ◎他地域のOPPシートを振り返らせることで、東海地区の農業と比較させ、地域的特色の共通性に気付くようにする。 ○農業産出額の大きい豊橋市の農業に関するホームページの記述も紹介し、温暖な気候と消費地との結び

<p>京、大阪などの大消費地とつながっているから園芸農業が盛んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊川用水が整備されたことで、農業が発展した。 		<p>付きが東海地区の農業の発展の要因になっていることに触れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東海地方の農業が盛んな理由を、自然環境や気候だけでなく、他地域の結び付きや位置関係などの条件と関連付けて理解している。</p> <p>〈OPPシート・ノート・発言（1）〉</p> </div>
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地方の農業の特色には、温暖な気候という自然環境だけでなく、消費地とのつながりや交通網の発達なども、関係していることが分かった。また、今まで学習した地域との共通点もあることが分かった。 	<p>10分</p>	<p>◎振り返りでは、OPPシートの「今日のポイント」を活用し、今日の授業で最も大切だったことは何かという視点で記入させる。それにより、今後の学習と関連付けられるようにする。</p>
<p>東海地方の農業の特色には、温暖な気候という自然環境だけでなく、消費地とのつながりや交通網の発達なども、関係していることが分かった。また、今まで学習した地域との共通点もあることが分かった。</p>		

6 板書計画

めあて 東海の農業には、どのような特色があるのだろう。

各都市の気候

- ・平均気温が高い
- ・日照時間が長い
- 温暖な気候

田原市の要覧

- ・野菜と花きの生産量が多い
- 特にキャベツと菊
- ・電照菊→抑制栽培
- ・施設園芸農業

Q. 田原市で農業が盛んな理由は？

- 温暖な気候を生かして野菜や花を生産している
- 豊川用水により環境が整備されている
- 東京、名古屋、大阪など大消費地との交通の便がよい

地図帳

- ・豊川用水が流れる
- ・東名高速道路

卸売市場のグラフ

- ・東京にも大阪にも愛知県産のキャベツが出荷されている

豊橋市、浜松市にも共通

→ 東海地方の農業の特色

まとめ

東海地方の農業は、温暖な気候という自然環境だけでなく、大消費地とのつながりや交通網の発達なども、関係している

指導計画 社会科 第2学年 単元名「中部地方」(全6時間計画)

目標	中部地方の地域的特色について、三つの地域の産業の違いについての資料を読み取り、地域的特色の変容について考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 中部地方の産業と自然環境や社会環境との関わりについて、様々な資料を活用しながら中部地方の地域的特色を理解している。(知識及び技能) イ 中部地方の産業の地域的特色を、地図や資料から読み取り、自然環境や他地域との結び付きなどと関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。(思考力、判断力、表現力等) ウ 中部地方に関心を持ち、自然的・社会的条件が産業に与える影響を意欲的に追究しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)			
評価規準	(1) 中部地方の産業について、自然環境や他地域との結び付き、社会の変化などと関連させながら、様々な資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色を理解している。(知識及び技能) (2) 産業に注目しながら、中部地方の三つの地域の産業と自然環境や社会環境の関連について多面的、多角的に考察し、自分の言葉でまとめている。(思考力、判断力、表現力等) (3) 中部地方の産業や自然環境などに関心を持ち、それらを関連付けて意欲的に追求しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)			
過程	時間	○ねらい □めあて	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	○中部地方の地理的条件や東海・中央高地・北陸の産業の違いに関わる資料から、中部地方の自然環境について知るとともに、調べてみたいことや疑問に思うことを話し合う活動を通して、地域的特色を追究する意欲をもてるようにする。 中部地方の産業の特色に関わる資料を基にして、単元の課題を考えよう。	・中部地方は東海・中央高地・北陸の三つの地域に分かれて、気候が異なり、産業の特色も異なる。なぜ、そのような違いがあるのか、調べてみたい。	・中部地方の自然環境や産業の特色を捉えるとともに、調べたいことや疑問に思うことを考え、単元の課題を記述している。 〈OPPシート・ノート・発言(3)〉
【単元を貫く学習課題】中部地方の産業には、どのような特色があるのだろうか。				
追究する	1	○東海の工業に関する資料を基に、輸送機械産業が発展してきたことを話し合う活動を通して、歴史的背景や交通網の発達に関係していることを理解できるようにする。 東海では、どのようにして輸送機械産業が発展してきたのだろうか。	・東海の工業は繊維工業を基に発展し、交通網の発達とともに輸送機械産業が盛んになってきた。東京と大阪のほぼ中間点という立地条件は、工業以外にも関係するかもしれない。	・東海で輸送機械産業が発展した理由を、歴史的背景と交通網の発達と関連付けて表現している。 〈OPPシート・ノート・発言(2)〉
	1 本時	○愛知県周辺の地図や田原市に関する資料を基に、それらの関連と既習の地域との類似点と相違点について話し合う活動を通して、東海地区の農業が自然環境や他地域との結び付きに影響を受けているという特色を理解できるようにする。 東海の農業には、どのような特色があるのだろうか。	・東海地方の農業の特色には温暖な気候という自然環境だけでなく、消費市とのつながりや交通網の発達なども、関係していることが分かった。また、今まで学習した地域との共通点もあることが分かった。	・東海地方の農業が盛んな理由を、自然環境や気候だけでなく、他地域の結び付きや位置関係などの条件と関連付けて理解している。 〈OPPシート・ノート・発言(1)〉
	1	○中央高地の土地利用や産業の種類の変化などの資料を基に話し合う活動を通して、現在の中央高地の諸産業の特色を理解できるようにする。 中央高地の産業は社会の変化とどのような関係があるのだろうか。	・中央高地は、冷涼な気候を生かした農業を行っていて高速道路を使って出荷している。工業では、養蚕業が衰退したことによって、果樹園や機械産業が盛んになってきた。	・現在の中央高地の産業が、地理的な条件や社会の変化に伴って変化してきたことを理解している。 〈OPPシート・ノート・発言(1)〉
	1	○北陸の農業や伝統的工芸品の資料を基に、自然環境と産業の関係について話し合う活動を通して、北陸の冬の豪雪が農業や地場産業に影響していることを理解できるようにする。 北陸の産業は、自然環境とどのような関係があるのだろうか。	・豪雪地帯の雪解け水や広大な平野が稲作や工業と関係があることが分かった。また、冬季の副業として始まったものづくりが、現代の地場産業につながっていることも分かった。	・気候や産業に関する資料から、北陸の人々の生活や産業には自然環境の影響が見られることを読み取り、理解している。 〈OPPシート・ノート・発言(1)〉
まとめる	1	○これまでの学習で学んできた自然環境と人々の生活の関連を基に、中部地方の地域的特色を説明できるようにする。 三つの地域の産業の共通点を話し合い、中部地方の産業の特色をまとめよう。	・中部地方の産業は、温暖な気候や雪深い気候などの自然環境を生かしたり、昔からの技術や他地域との結び付きなどを生かしたりして、農業や工業を行っていることが分かった。	・これまでの学習をもとに、中部地方の産業の特色を自分の言葉で表現している。 〈OPPシート・ノート・発言(2)〉